

新年の幕開けを祝う、美しいピアノの調べと、情熱的な指揮者による迫力のオーケストラサウンド

人気・実力ともに
日本を代表する
ピアニスト。
ピアノ 小山実稚恵

もみじ銀行設立10周年記念

YMFG MOMIJI NEW YEAR CONCERT 2015

今、最も勢いにのる
新進気鋭の
若手実力派指揮者。

指揮 田中祐子

YMFGもみじ ニューイヤーコンサート

チャイコフスキー

歌劇「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

ドヴォルザーク

交響曲第8番ト長調 作品88



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

2015

1.10 **土** 15:00開演 広島文化学園HBGホール
(14:30開場) (広島市文化交流会館)

料金 | S席一前売り3,500円/当日4,000円 A席一前売り3,000円/当日3,500円
(全席指定) | B席一前売り2,500円/当日3,000円 学生券(B席)一1,000円(当日販売のみ、要学生証)

※就学前のお子さまの同伴はご遠慮ください。

チケット販売所

エディオン広島本店プレイガイド
福屋八丁堀本店プレイガイド/福屋広島駅前店チケットサロン
中国新聞社読者広報部[TEL:082-236-2455]/中国新聞販売所(取り寄せ)
ローソンチケット(Lコード 64727)/電子チケットびあ(Pコード 243-318)

主催=もみじ銀行・中国新聞社
お問い合わせ=もみじ銀行広報室 TEL:082-241-3043

もみじ銀行設立10周年記念

YMFG MOMIJI NEW YEAR CONCERT 2015

ピアノ
小山実稚恵

Michie Koyama, pianist

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール第3位、ショパン国際ピアノコンクール第4位という、二大コンクールともに入賞した日本人で唯一のピアニスト。

コンチェルトのレパートリーは60曲にも及び、国内外のオーケストラや著名指揮者とも数多く共演を重ねている。フェドセーエフ指揮、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ(モスクワ放送響)とは、2012年秋に日本ツアーを行い、2013年4月にはモスクワにて共演。2006年からはBunkamuraオーチャードホールにて春・秋年2回ずつ2017年までの壮大なプロジェクト「12年間・24回リサイタル・シリーズ」を開始。小山の演奏活動の集大成とも言うべきこのシリーズは、考え抜かれた構成のもと毎回テーマとカラーを設定し、全24回のプログラムをスタート時にすべて発表したことでも大きな注目を浴びた。公演は全国7都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡、北九州)において進行中である。

ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン=ティボーなどのコンクールで審査員を務めている。2014年9月には、ミュンヘン国際音楽コンクール・ピアノ部門に審査委員として参加。

また、2011年の東日本大震災以降、東北出身ということもあり「被災地に生の音を届けたい」との強い思いで、岩手、宮城、福島の実地での被災地の学校や公共施設等で演奏を続けている。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び27枚をリリース。前作『ヴォカリーズ』と最新盤『シャコンヌ』は、2作連続して「レコード芸術」の特選盤に選ばれた。

2005年度 文化庁芸術祭音楽部門 大賞
2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門 本賞
2013年度 レコード・アカデミー賞 器楽曲部門 『シャコンヌ』

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

© Kazuo Matsuura

指揮
田中祐子
Yuko Tanaka, conductor

東京国際コンクール「指揮」入選、プザンソン国際指揮者コンクールのセミファイナリスト、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリストなどのコンクール歴を誇り、すでに数々のオーケストラを指揮して好評を博し、注目を集める新進気鋭の指揮者。

名古屋生まれ。東京音楽大学指揮科(特待奨学生)卒業後、東京藝術大学大学院指揮科修士課程修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、高関健、汐澤安彦の各氏に師事。さらに下野竜也氏によるマスタークラスを受講。ピアノを隈本浩明氏に師事。これまでに、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。2013年は、1月にクロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団を指揮、9月には日本フィルとヘンデル「メサイア」全曲を演奏して好評を博す。また、オペラの分野においても、日生劇場、東京室内歌劇場など各地のオペラ団体に参加。特に、池辺晋一郎作曲「高野聖」の世界初演、木下牧子作曲「不思議の国のアリス」の改訂版初演の副指揮者を務めて公演を成功へと導いた。2014年以降は、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団などの共演を予定している。

田中祐子公式ウェブサイト

<http://yuko-tanaka.com/>

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1970年に名称を「広島交響楽団」とし、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする中・四国唯一の常設プロオーケストラとして活躍の場を拓いている。

創立指揮者として1964年、初代常任指揮者に井上一清(現・名誉創立指揮者)、1976年、初代音楽監督に田頭徳治が就任。1984年に日本音楽界の重鎮であった渡邊曉雄を音楽監督・常任指揮者に迎える。その後、高関健、田中良和、十束尚宏の各氏が音楽監督・常任指揮者を歴任。1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年からは音楽監督・常任指揮者を務めている。

日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス(ルーアン、ルーブル)、ロシア(サンクトペテルブルク)、韓国(テグ、ソウル、プサン)などで海外公演も行うなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶のディスカバリー・シリーズ」、広島市との共催による「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約150回に及ぶ演奏活動を行っている。

2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍を期待されている。

2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3 HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

会場: 広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)

〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881

アクセス バス: JR広島駅 南口Aホーム3番のりば 広島バス 24番 吉島線で25分 「加古町」下車すぐ
路面電車: 広島電鉄江波線「舟入町」電停より徒歩5分/広島電鉄宇品線「市役所前」電停より徒歩12分

主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行広報室 TEL:082-241-3043

